

もうすぐ夏休みですが、南高生の皆さんは元気に過ごせていますか。夏休みに入るといつも以上に時間ができますね。せっかくの機会なので、ゆっくり本と向き合っはいかげでしょうか。

1 学期末・夏休みの開館日について

7月：22日、24日、25日、28日、29日、30日

8月：21日、22日、25日、26日

午前11時～午後3時

★これまでに借りた本は、終業式までに返却してください。

★7月17日以降に借りた本は、8月29日まで借りることができます！

夏休みの間も、皆さんの来館をお待ちしております！



【図書委員オススメの本】

今月は、「夏休みにオススメの本」を紹介します！

『青い鳥の本』文 石井ゆかり 絵 梶井沙羅（パイインターナショナル）



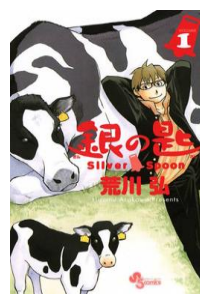
この本は日常生活で困った時にヒントをくれる一冊です。この中で私が好きな言葉が二つあります。一つ目は『「個性」とは、人と違っているところ、「弱み」も「強み」として利用できる』です。この世界には80億人以上が暮らしています。私たちもそのうちの一人で誰一人として同じ人はいません。私は人前で話すのが苦手です。が、影で準備することは出来ます。このように私の弱みは誰かを支える大事なものだと思っています。二つ目は『全然変わらない！という思いで続けていることが生み出す変化はいつも「いつのまにか」起こります』です。毎日やっても変わらないことは多くあります。しかし辛抱強くやっていると必ず答えがわかります。私は数学が苦手な問題を何回解いても分からない日々でした。しかし一年が経った今では毎朝解いていた数学の努力が実ったのです。「私にはできない、やりたくない」と思わず「できる」「大丈夫」と思える人になってほしいです。毎日私たちは成長し続けています。

（担当：松岡）

『銀の匙』荒川弘（小学館）

僕が皆さんに紹介したい本は「銀の匙」です。この作品は主人公が親から離れた一心で入学した大蝦夷農業高等学校、通称エゾノーで一癖も二癖もある仲間たちや上級生と一緒に主人公が本当にしたいことを探す作品です。

僕がこの作品をオススメする理由は「案外興味がない分野に自分が本当に叶えたい夢があるかもしれない」ということを教えてくれたからです。僕も読み進めるにつれて自分が興味のなかった「人を助ける仕事」に興味を持ち、その興味はやがて夢となり今その夢に向けて切磋琢磨しています。上の話を抜きにしても作品自体がとても面白いので、夢が決まっている人も決まってない人にも読んでほしい作品です。図書室に置いていますので、手に取って自分の可能性を広げてみてください！



（担当：織田）





【最近の図書館の様子です】

入り口付近には、寄贈された漫画本や読書感想文の課題図書が置いてあります。課題図書は、その本で感想文を書く人に借りてほしいと思いますので、8月28日までは一人一冊まで貸出可能としています。暑い夏だからこそ、涼しい部屋で読書はいかがでしょうか？ぜひ来館してください！



【読書感想文のすゝめ】

夏休みの宿題で、読書感想文を書く人も多いと思います。ここでは、読書感想文にどのようなことを書いたらいいのかを紹介するので、悩んだ人は参考にしてください！

・一番心に残った場面について

どの場面（誰が、どうしているところ）が心に残ったのか。
なぜその場面が心に残ったのか。

・自分も似たような経験があれば書こう！

いつ、どこで、どのような経験をしたのか。
そのとき、登場人物と同じような気持ちになった？

・本を読んで考え方が変わったこと、これからの生活に生かしたいこと

この本を読んで、どのような新しい発見があったのか。どのように考えが変わったか。
これからの自分の生活に、どう生かせるだろうか。



【課題図書】

高等学校の部では、次の本が課題図書になっています。



名取佐和子 著
『銀河の図書室』
(実業之日本社)



ヴィーラ・ヒラナンダニ 著ほか
『夜の日記』
(作品社)



五十嵐大 著
『「コーダ」のぼくが見る世界：聴こえない親のもとに生まれて』
(紀伊国屋書店)

* 課題図書の本は、図書室にも置いてあります。数に限りがあるので、借りたい人は図書室まで相談しに来てください。

